

令和 4 年度第 3 回瀬戸市生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体会議

(生活支援コーディネーター提供資料)

取組及び活動進捗状況（下半期）

企業の地域貢献活動と多機関協働

・ 社会福祉協議会が開催するふくしボランティアフェスティバルにて地域のボランティアや関係団体に多機関連携を意識していただくことを目的に地域貢献活動を実施している企業の紹介（13 社）を行った。（別紙参照）

・ 社会福祉協議会が今年度から制度化した地域福祉パートナーシップ事業者認定制度を活用して、大橋運輸（株）、（株）クリップハート、中部電力パワーグリッド株式会社旭名東営業所、雪印ビーンスターク株式会社中部支店、日本生命保険相互会社の 5 社を認定し、企業の地域貢献活動と身近な福祉課題をマッチングするための話し合いと活動に向けて支援を行った。

地域の居場所への聞き取り調査

・ 地域の居場所運営者（約 50 カ所）にアンケートでの聞き取り調査を行い、運営上の課題やコロナ禍での課題を抽出した。

地域ケア会議開催への地域包括支援センターへの協力

・ 地域包括支援センター主催の地域ケア会議の開催に向け、各生活支援コーディネーターが相談に応じた。
・ 自治会や老人クラブ等の関係団体への話し合いに同行した。

移動支援事業を活用した聞き取り調査

・ 道泉連区で実施する移動支援事業に同行し、参加者からニーズ調査を行った。



今後の具体的取組

【取組】

- ① 地域課題解決に向けての新たな地域資源として、地域福祉パートナーシップ事業者認定制度を活用し企業のノウハウ等を生かし地域福祉活動に連携・協働して下さる企業を増やしていく。
また、地域とパートナーシップ事業者をマッチングし、活躍できる機会を作る。
- ② ふくしボランティアフェスティバルにて紹介した地域貢献活動を実施している企業（13 社）の周知を図るため、社協ホームページにて紹介する。
- ③ 地域の居場所運営者の課題解決のため、運営者を集めて意見交換会を行い、継続して居場所を実施出来るよう支援をする。
- ④ 地域包括支援センターの地域ケア会議や移動支援事業の参加者等から抽出された地域ニーズを集約し、必要な資源開発に向けた検討を行う。